

グループ日誌「ファンタジー」の一ページ 1969年1月9日（高3・冬）
吉田城先生の手書き原稿 「受験生昭和元禄タイハイ音頭」

1月9日



明日は化学と国語があるはずである。右にか数学が終わってしまうと
ホッとした気持ち（決して良かったわけではな）になるものです。明日このファンタジー
渡さないと オニ士郎のおかげで 保持するのが 4日になってしまうのだ。ハムと 夢をハク
事で 埋めるのは 申しわけなので ぴっぴかパンしてもらって 最後の朝まで なるかもしれる
この 権限を お願いしています。（つづろわするは月曜日）

受験生昭和元禄タイハイ音頭

(東京の東京音頭) にはあきらまなく作ら

ア、朝から晩まで 鉛筆はかり
受験勉強も 楽しいや
一年早サリヤ ケバ持るこ
サンニバクられ カニコ持るし
らうやにのちば ハニサムー
強に来るぞ タイハイオニドク

新宿行ても	ハタ目もくさ
アサリ回るは	花園屋
東江にコーク	アングラ映画
つりつたアーノ	ミンナ遊び
ふいふにや	アサリタリ
ササにや	タイハイオニドク

入試中止は なるがな
東江のち 文部省
東江のち 文部省
入試中止は なるがな
らうやにのちば ハニサムー
強に来るぞ タイハイオニドク

[グループの構成メンバー：稲葉正志、平野芳行、武藤俊一、矢野国明、吉國
眞一、小林（伊東）佐起、中島（鐘ヶ江）貴子]